

FREE

ご自由にお持ちください。

No.811
2021 April

4

岐阜県の森林・林業

も り
森林のたより



News of the forest



岐阜県の5箇所の環境保全モデル林を紹介します



可児市我田の森 「広場とビオトープ」



加子母福崎の森 「木馬道」



土岐高山城跡の森
「展望休憩所からの土岐市街」



美濃市古城山 「展望台」



揖斐川町城台山 「歴史の里へのみち」

●詳細は、美濃市古城山、可児市我田の森、土岐高山城跡の森は、3月号に掲載済み
加子母福崎の森、揖斐川町城台山は6月号に掲載予定です。



編集・発行 公益社団法人 岐阜県山林協会

E-mail sanrinag@quartz.ocn.ne.jp

http://www.g-forestry.or.jp (公社)岐阜県山林協会の情報をご覧ください。

開催日	行事名等	内容等 (概要、定員、受講料、申込期限など)	場所
			申込(問合せ)先/TEL
3月1日(月)~ 5月31日(月)	緑の募金(春期)	「緑の募金で進めようSDGs」をスローガンに家庭募金、企業募金、職場募金などを行っています。	公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 TEL 058-273-7577



表紙●岐阜県の5箇所の環境保全モデル林を紹介します

目次 Contents

イベントカレンダー(一般向け) 2

100年先の森林づくりシリーズ 3

野鳥のヒナを拾わないで! 3

山の歳時記(188) ヒュウガミズキ 4

伐採及び伐採後の造林の届出制度のお知らせ 5

伐採旗設置制度のお知らせ 5

令和2年度「岐阜県木造住宅アドバイザー」 5

「岐阜県木造住宅相談員」を認定しました。 6

ぎふの木を使った家づくり支援制度のご案内 7

ぎふ木遊館通信 8

morinosプログラム紹介!! 9

地域の間伐材を利用した薪ボイラー 10

薪ストーブのイチゴ栽培への導入 10

木の香(ぎふの施設(97) 岐阜市立長良小学校 11

山のおしゃまむし(357) —すく腹が立つ、アライグマ— 12

令和3年度「清流の国ぎふ森林・環境税を活用した事業の全体計画」 13

森林と人を活かす知恵(99) 13

変わる木工家の役割 14

「樹の一脚展」人の営みと森の再生」の開催を通じて 14

研究コーナー 岐阜県におけるヒノキ根株腐朽被害の実態 15

普及コーナー 白川村における主伐・再造林の取組支援 16

スマート林業通信(10) OWLが認識する反射テープの試験 17

国有林の現場から(54) 岐阜森林管理署のお仕事 18

林業者向けお知らせ 19

市況 20

第3期岐阜県森林づくり基本計画(H29~H33)では、望ましい森林の姿へ配置転換する「100年先の森林づくり」、林業経営を重視した「生きた森林づくり」、環境保全を重視した「恵みの森林づくり」に取り組んでいます。これらの取組状況について、隔月連載でご紹介します。

◆100年の森林づくり計画実践プロジェクト

「林業事業体の経営体質強化研修」について

11月27日に「10年後の組織のあり方を考え目の前の組織を変えていくための研修」～中小規模の組織が10年後も残り続けていくためには～をテーマに、金属加工や自衛隊など多様な業界から6名の講師をお招きした研修会を開催しました。

本研修会は、林業事業体の経営体質強化を図り、人材の確保・育成・定着につなげることを目的に、県内林業事業体の経営者層や班長等の現場管理者向けに実施したものです。

今回はコロナ対策として、換気や消毒を行い、受講者間の距離をしっかりと保つなど、徹底した対策の下で研修会を開催しました。

講義は、事業体の中心となる経営者や班長の役割について、経営方針や人材育成、現場管理方法などの具体的な事例を交えたわかりやすい内容で進められました。参加者からは、組織の核となる経営理念の設定や、社員間でアプリを活用した作業状況の共有方法など、今後の業務の参考になるような話を聞くことができ、大変有意義であったとの感想がありました。また、盛んに意見が交わされ、予定時間では収まりきれないほどの充実した研修会となりました。

県においては、「第3期森林づくり基本計画」や「林業の新たな担い手確保・育成方針」に基づき、森林技術者の確保に取り組んでいますが、林業事業体の経営強化に不可欠な職員や森林技術者の人数は、近年は横ばい傾向であり、人材の確保・育成・定着が重要な課題となっています。今後も県内林業事業体の経営体質強化につながる研修会開催などの支援施策に、継続して取り組んでいきます。

なお、2月22日から3月3日には、より多くの方に参加いただくべく、動画配信による研修会も実施しました。今後もWebを活用するなど、なるべく多くの方に研修に参加いただけるよう工夫していきます。



(研修の様子)

【森林整備課 林業経営改革室 担い手企画係】 ●詳しい内容を知りたい方は [TEL058-272-1111](tel:058-272-1111) 内線(3198) まで



野鳥のヒナを拾わないで！

春から初夏にかけては野鳥の子育てシーズンです。野鳥のヒナの多くは、羽が生えそろうとすぐに巣立ちの練習を始めます。ヒナは、うまく飛ぶことができるようになるまでは地面にいて、エサを取りに行った親を待ったり、羽ばたきの練習をしたりしながら、自然の中で生きていくための様々なことを学びます。親鳥は、姿が見当たらなくても、近くにいてヒナを見守っています。この時期のヒナを保護することは、親鳥にとっては「誘拐」になってしまいます。羽が生えそろうているヒナを見つけたときは、子育てを邪魔しないように静かにその場を立ち去りましょう。

また、自然に生きる野生鳥獣を勝手に飼うことは法律で禁止されています。

羽が生えそっていないヒナを見つけたら？

近くに巣がある場合は、使い捨て手袋を使うか、ハンカチやティッシュペーパーなどでそっと包み、巣に戻してあげてください。発見場所が歩道の真ん中などヒナにとって危険な場所の場合は、近くの木の枝の上にのせる、草むらの中に置くなどして移動させてください。鳥をさわった後は、石鹸を使って手洗いをしてください。



【環境企画課 生物多様性係】 ●詳しい内容を知りたい方は [TEL 058-272-8231](tel:058-272-8231) まで



文：樹木医・日本森林インストラクター協会 理事 川尻 秀樹

春らしい暖かな日、山沿いで花穂を揺らすヒュウガミズキを見つけてきました。

ヒュウガミズキ(*Corylopsis pauciflora*)はマンサク科トサミズキ属の落葉低木で、4月頃に薄黄色の花を2〜3個ずつ房状に咲かせます。

属名の *Corylopsis* は花の形が兜に似ているため、ギリシャ語の「corys (兜) と opsis (似ている)」の造語で、種小名の *pauciflora* は「少数の花」、つまりトサミズキよりも花が少ないことを意味してい

ます。

日本で見られるトサミズキ属には、ヒュウガミズキとトサミズキ、コウヤミズキ、キリシマミズキがあり、いずれの種も蛇紋岩や石灰岩などの痩せ地を好みます。日向、土佐、高野、霧島と、樹種名が自生地の地名を表すように思われがちですが、そうとは限らないようです。

4種の見分けは、ヒュウガミズキは花数が1〜3個と少なく、トサミズキは7〜10個の花が垂れ下がります。トサミズキはコウヤミズキに似ていますが、花の葯が紅色で葉の裏には毛があります。コウヤミズキの葯は紫色で、葉の裏には毛がありません。またキリシマミズキは雄しべが花弁よりも短いため見分けられます。

花弁は淡黄色〜黄緑色の色合いが絶妙で、茶花としても人気があります。俳人で医学博士であった水原 秋桜子(しゅうおうし)は1892〜1981年は「土佐みずき 山茱萸(サンシユ)も咲きて 黄を競ふ」と詠んだよう

に、トサミズキやヒュウガミズキは春の季語として数多く詠まれています。

これらは江戸時代から観賞用に栽培が盛んになり、庭園だけでなく、根がよく張るため斜面の土留めとして多用されました。この仲間は海外でも人気が高く、1863年に Veitch という人が幕末の日本からイギリスに導入し、ヨーロッパ各地で広く栽培されています。

ヒュウガミズキは本州中部や近畿の日本海側の石礫地などに分布します。ヒュウガミズキはトサミズキなどに比べて、花数が少なく小さいため、「姫ミズキ」が訛ったとか。昔、日向の国(宮崎県)に多く植えられた経緯があるからとか。岐阜県山県市出身とも言われる安土桃山時代の武将、明智日向守光秀の所領地丹波地方(京都北部)



▲房状の花をたくさん咲かせるヒュウガミズキ

に、多く自生していたため日向ミズキとなったとも言われます。他にも愛媛県の伊予地方を指すイヨミズキ(伊予水木)の名もあります。最後に、樹種名に「ミズキ」の名がありますが、植物分類上はミズキ類ではなくマンサクの仲間であり、何とも不思議な樹木なのです。

伐採及び伐採後の造林の届出制度のお知らせ

森林の立木を伐採するときには、事前に「伐採及び伐採後の造林の届出書」(以下、伐採届)の提出が必要ですが、平成29年4月1日以降に提出した「伐採届」に基づいて立木を伐採(主伐)した場合には、「伐採及び伐採後の造林に係る森林の状況報告書」(以下、状況報告書)を提出することが森林法で義務づけられています。

Q.届出・報告の対象となる森林は？

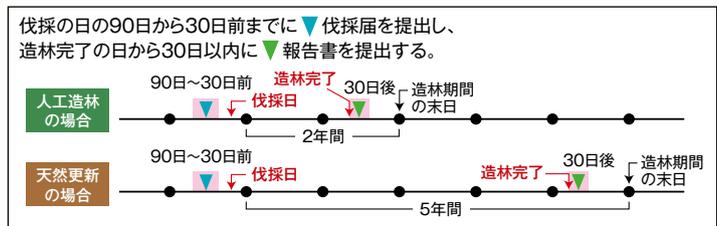
対象となる森林は、地域森林計画の対象となっている民有林です。地域森林計画対象かどうかは、下記URLからご確認ください。
岐阜県HP「ぎふ ふおれナビ」：<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/2264.html>
なお、保安林の伐採や林地開発を行う場合は、手続きが異なりますのでご注意ください。

Q.誰が提出するの？

- ・伐採届は、森林所有者もしくは伐採をする(権原を有する)者が提出します。伐採をする(権原を有する)者と造林をする(権原を有する)者が異なる場合は連名で提出します。
- ・状況報告書は、造林をする(権原を有する)者が提出します。

Q.いつ、どこへ提出するの？

- ・伐採届は、伐採を開始する日の90日から30日前までに。
- ・状況報告書は、造林(天然更新)が完了した日から30日以内に。
※対象森林の所在する市町村に提出します。



Q.添付書類は？

伐採届には伐採箇所を示した位置図等の添付をお願いします。

伐採旗設置制度のお知らせ

皆伐(普通林は1ha以上)を行う場合は、伐採旗を設置してください。

Q.制度の目的は？

合法伐採を行う目印として伐採旗を設置し、合法伐採箇所の判別を容易にすることで、違法伐採の防止を図るとともに環境に配慮した伐採を進めます。

Q.制度の概要は？

下記の伐採を行う現場に伐採者が伐採旗を設置します。

種類	普通林	保安林
旗の設置対象	1 ha以上の皆伐	全ての皆伐
設置する旗	伐採届出旗	伐採許可旗
旗の交付者	市町村	県(農林事務所)
設置期間	伐採開始日～造林完了まで	伐採開始日～伐採終了まで



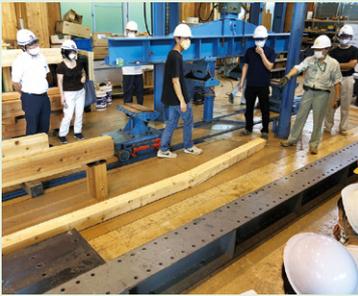
●詳しい内容を知りたい方は 林政課森林計画係(TEL 058-272-8471)まで

令和2年度

「岐阜県木造住宅アドバイザー」
「岐阜県木造住宅相談員」を認定しました。



県では、県産材を使用した住宅の提案や相談等に対応できる人材を養成するため、建築士を対象とした「岐阜県木造住宅アドバイザー養成講座」を、工務店の営業担当者を対象とした「岐阜県木造住宅相談員養成講座」を開催しています。令和2年度は、「木造住宅アドバイザー」として5名、「木造住宅相談員」として14名を認定しました。令和3年度も養成講座を開催する予定です。詳しくは県産材流通課のHPをご確認ください。



▲令和2年度の養成講座の様子

●認定状況

	R2 認定者	累計 認定者数	(認定開始)
木造住宅アドバイザー	5名	310名	(H18)
木造住宅相談員	14名	198名	(H24)

●令和2年度新規認定者一覧

「岐阜県木造住宅アドバイザー」認定者一覧		
認定番号	氏名	勤務先
0201	横山 則子	(株)新和建设
0202	裁 昭人	裁建築 裁建築設計事務所
0203	鎌田 保幸	宮島建設(株)
0204	小瀬木 知江見	宮島建設(株)
0205	中山 毅雄	(株)伊藤木材店

※敬称略



「岐阜県木造住宅相談員」認定者一覧		
認定番号	氏名	勤務先
0201	堀場 敏克	(株)新和建设
0202	上原 貴文	(株)新和建设
0203	大下 弘樹	(株)新和建设
0204	井上 大輔	(株)新和建设
0205	武内 香織	(株)新和建设
0206	伊藤 奏歩	(株)新和建设
0207	加藤 景子	(株)ミノワ
0208	伴野 雅人	東白川村役場 地域振興課 フォレストスタイル事務局
0209	吉田 理恵	NPO musubi
0210	高橋 朋也	(株)弘栄工務店
0211	三吉 奈々未	(株)弘栄工務店
0212	榎本 芳美	(株)弘栄工務店
0213	北野 輝帆子	アトリエ・ヌース建築研究所
0214	白木 かおり	(有)工栄建設

※敬称略

【県産材流通課 酒井 利明】

●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-8487 県産材流通課販路拡大係まで

ぎふの木を使った家づくり 支援制度のご案内

岐阜県では、県産材を一定量以上使用した住宅の建設者（施主）に助成を行っています。

詳しい条件や応募状況などは、県のホームページでお知らせしています。



◆助成内容

	タイプ・県産材使用要件等	助成額	
県内新築タイプ	【構造材】 以下のいずれかの要件を満たす住宅 ○「ぎふ性能表示材」を構造材の80%以上、かつ横架材に6㎡以上使用 ○「ぎふ性能表示材」を構造材の80%以上、かつ横架材に4㎡以上使用し、「ぎふ証明材」または「ぎふ性能表示材」を内装材に20㎡以上使用 ●「ぎふ性能表示材」を構造材の90%以上、かつ横架材に8㎡以上使用 【拡充】	20万円 20万円 30万円	79万円（最大）
	上記、構造材に加え、下記に木材を使用した場合、加算 【内装材】 ○「ぎふ証明材」を内装材に50㎡以上使用 ○「ぎふ性能表示材」を内装材に50㎡以上使用	10万円 12万円	
	【外壁材】 ●「ぎふ証明材」を外壁材に20㎡以上使用（上限50㎡） 【拡充】 ●「ぎふ性能表示材」を外壁材に20㎡以上使用（上限50㎡） 【拡充】	6～15万円 7.2～18万円	
	【ウッドデッキ】 ●「ぎふ証明材」をウッドデッキに5㎡以上使用 【拡充】	4万円	
	【木塀等】 ●「ぎふ証明材」を塀、柵などに2㎡以上使用（上限10㎡） 【拡充】	3～15万円	
県外新築タイプ	【構造材】 以下のいずれかの要件を満たす住宅 ○「ぎふ性能表示材」を構造材の80%以上、かつ横架材に6㎡以上使用 ○「ぎふ性能表示材」を構造材の80%以上、かつ横架材に4㎡以上使用し、「ぎふ証明材」または「ぎふ性能表示材」を内装材に20㎡以上使用	20万円 20万円	20万円（最大）
県内改修タイプ	【内装材】 ○「ぎふ証明材」を内装材に20㎡以上使用（上限50㎡） ○「ぎふ性能表示材」を内装材に20㎡以上使用（上限50㎡） （※）バリアフリー改修加算あり	4～10万円 4.8～12万円 （※）4万円（上限）	53万円（最大）
	【外壁材】 ●「ぎふ証明材」を外壁材に20㎡以上使用（上限50㎡） 【拡充】 ●「ぎふ性能表示材」を外壁材に20㎡以上使用（上限50㎡） 【拡充】	6～15万円 7.2～18万円	
	【ウッドデッキ】 ●「ぎふ証明材」をウッドデッキに5㎡以上使用 【拡充】	4万円	
	【木塀等】 ●「ぎふ証明材」を塀、柵などに2㎡以上使用（上限10㎡） 【拡充】	3～15万円	

◆申請期間

令和3年4月12日（月）から令和4年2月28日（月）

（※）令和3年3月20日（土）から令和4年2月28日（月）までに工事が完了した住宅が対象

住宅ローンの支援制度もできます

県産材の使用要件を満たす新築住宅は、金利優遇の対象となります（岐阜県・愛知県・三重県に建築する住宅が対象）。取り扱いローンなど詳しくは、協力金融機関にお問い合わせください。

【対象ローン】 フラット35、35S など

【適用金利】 店頭基準金利から年▲0.2%（全期間 手数料定額型）

【協力金融機関】 大垣共立銀行、十六銀行、岐阜信用金庫、大垣西濃信用金庫、東濃信用金庫、関信用金庫（金融機関コード順）

【県産材流通課 酒井 利明】

●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-8487 県産材流通課 販路拡大係まで



ぎふ木遊館通信



ぎふ木遊館では、新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら、開館しています！

2月・3月のイベント報告

<ギャラリー企画展を実施しました!>

ぎふ木遊館では、2月8日から3月2日まで、ギャラリーにて「ぎふの木の住まい展」を実施しました。ぎふの木の住まい協議会と連携し、岐阜県産材を使用した住宅や建築会社を紹介したパネル展示を行いました。

また、アンケートに回答した方には、雑誌「ぎふの木の住まい」を3冊プレゼントするキャンペーンも実施しました。当館の来館者層は、小さなお子さんのいる家族がメイン。これから家を建てようと考えている方、木造の家に興味のある方が多いのか、ギャラリーに立ち止まる姿もたくさん見られ、アンケートにも多数ご協力いただきました。

岐阜県産材を使った家を建てる人が増えていくことは、ぎふ木育が目指す理想の姿の1つです。これからも岐阜県産材をふんだんに使った空間やおもちゃを通して、木の魅力、木の家の魅力を伝えていきます。



<福よせ雛がやってきた!>

2月25日にぎふ木遊館に「福よせ雛」がやってきました。

「福よせ雛」とは、節句人形として持ち主の健やかな成長を見守る「お雛様」の役目を終え、第二の人生を楽しんでいる人形たちのことで、人々に笑いと福を呼ぶ新たな役割があります。

「福よせ雛」の皆さんは、コロナ対策としてマスクを着用して来館し、木育について学んだり木を切っている姿は、まるでぎふ木遊館を楽しんでくれているようでした。

今にも動き出しそうな人形たちの生き生きとした姿を見ると自然と笑みがこぼれます。ぎふ木遊館にも笑いと福を呼びよせてくれました。



ぎふ木遊館のイベント情報等については、公式ホームページでご確認ください。





やがてみんなの森になる

morinos

プログラム紹介！！

令和2年7月22日に岐阜県立森林文化アカデミーにオープンした森林総合教育センター（愛称morinos）で実施しているプログラムについてご紹介します！

今回は、関市の公立保育園と連携した取り組みをご紹介します。

関市には、10園の公立保育園があり、地域の自然や森を活用し、散歩などからドキドキ・ワクワクする実体験を通しての育ちを大切にしている。その保育を実践するため、各園の保育士さんと市役所職員がタッグを組んで「チーム森」を作り、この「チーム森」が推進力となって活動の向上に取り組まれています。

morinosは、保育園の活動に混ざりながら、森の中での安全対策や遊び方などを支援しています。

今回は、昨年12月1日に、関市立富岡保育園において、園児や保育士さん、チーム森の方々とともに、森の体験を行ったことについてご報告します。

富岡保育園に集合し、森で使ういろんな道具をリヤカーに乗せて森に出発です。この森は、ヒノキの人工林にアベマキ、クリ、ソヨゴ、サカキ、アセビなどが入り込み混合林化が進んだ森です。

立ち枯れ木が多く、園児たちとともに木を倒すことになりました。手ノコで切ったり、ロープで引っ張ったり、道具の使い方をおしえたり、安全にも配慮しながら、子どもたちと保育士の主導で進めます。

倒した木を使って、木の円盤を作りました。園児たちは、その円盤を使って鬼滅の刃の「禰豆子」を作るなど、創造力を発揮して、いろんな作品を作ってくれます。

森の中での遊びは園児たちの発想力でどんどん広がります。クリの枯れ木でシーソー遊びや平均台のように遊ぶ園児、保育士もその木の持つ特性や腐食状態を見ながら遊びの道具としても利用します。保育士も森の活動を継続する中で、森を見る力や楽しく安全に遊ばせる技術がだいぶ上がってきています。

落ち葉も楽しい遊び道具、園児たちは目隠した先生を連れてきて「落ち葉サプライズ」といって、集めたはっぱをかけたたり、大量に集めて落ち葉シャワーをしたりして大喜びです。

「落ち葉って暖かい」という言葉を聞き、落ち葉でいっぱい遊んだからこそ感じられる言葉だなと感じました。

午後からは尾関関市長さんもお見えになり、落ち葉に体ごと埋もれる体験（シェアリングネイチャーゲームでは「大地の窓」という。）をされました。それを見た園児たち、「私も」、「私も」と言いながら何人も落ち葉ベッドに寝て、大地の窓を楽しんでいました。最後に、関市長とチーム森のみなさんで記念撮影し、朝からお世話になった森から帰ることになりました。

「今日はいつもよりいっぱい遊んだね」と話しながら、園児たちはリヤカーにつけたロープを引っ張り帰りました。

帰園後は、「チーム森」、富岡保育園の保育士とmorinosスタッフで、森の楽しみ方や安全対策など活動のシェアリングをします。シェアした内容をチーム森のメンバーは各園に持ち帰り、それぞれの保育園で共有しながら今後の各園の森の活動に生かしていきます。

これからも森林空間を活用した関市の園児たちの体験が継続的に取り組まれるよう、morinosとしても継続して支援していきます。

このほかにも、morinosでは人と森をつなぐため様々なプログラムを実施したり、地域の取組みを支援します。興味のある方はご連絡ください。



▲枯れ木を引っ張る様子



▲保育士たちの木の輪切りづくり



▲鬼滅の刃 禰豆子



▲落ち葉のシャワー



▲尾関市長とチーム森のみなさん

ホームページ <https://morinos.net>

開所時間 10:00~16:00

YOU TUBE 検索「morinosチャンネル」

定休日 毎週火・水曜日

地域の間伐材を利用した薪ボイラー・薪ストーブのイチゴ栽培への導入



導入された薪ボイラーと
石川農園の石川 右木子代表

冬季にイチゴを栽培される恵那市上矢作町の石川農園では、環境に配慮した循環型農業を目指し、清流の国ぎふ森林・環境基金の「木質バイオマス利用施設導入促進事業」により、薪ボイラー、薪ストーブを導入されました。

この導入により、6棟(1棟…6m×70m)のハウスを温め、ハウス一面に広がるイチゴを育て、またイチゴ狩りの観光農園としても利用されています。

本記事では、農業用ハウスへの地域の森林資源を活用した薪ボイラー、薪ストーブの導入事例について、紹介します。

イチゴ栽培における暖房

イチゴは12月頃から5月末にかけて栽培、収穫され、特に厳寒期にはイチゴの生育、収穫量にも影響することから、ハウス内の暖房に加え、培地(根域)の加温が必要となります。

薪ボイラーは、ボイラー隣のタンクに温水を蓄熱・貯湯させ、棚を組み高い位置に設置された培地中にチューブ



薪ストーブ(手前)と
ハウス内で栽培されるイチゴ

を通して温水を循環させることで培地の地温を高める仕組みです。

また、夜間にハウス内の室温を温める目的で、薪ストーブが利用されています。

地域の間伐材(未利用資源)の活用

今回、導入されたボイラー・ストーブの特徴として、重油を燃料とするのではなく、地域で調達した間伐材を燃料としています。

上矢作町は森林率95%の山村地域ですが、人の手により植えられたスギやヒノキの人工林の割合が高く、近年、間伐など手入れの不足により森林の荒廃が進み、水源涵養機能が低下しています。

山村地域で農業を経営するうえで未利用の地元の森林資源を有効利用することが、地域経済を循環させ、地元の森林、水源の保全につながると石川代表は考えられました。そこで、地元の「NPO法人奥矢作森林塾」による人工林の再生に向けて取り組む活動において搬出される間伐材や林地残材を有効利用することにされました。そして、地元の老人クラブの方々の手で薪にしてもらい、ボイラー・ストーブの燃料としています。

この取組みにより、山村地域ならではの、地元の森林資源による持続可能な農業経営が期待されます。

川下へ流れつがる矢作川

上矢作町は、矢作川の源流域に位置し、石川農園のイチゴハウスのすぐ脇にも流れています。そのため、地元の山々に育つ森林により蓄えられた良質で豊かな水が、隣の愛知県の各地へと流れていき、地域の生活・産業に利用され、最終的に三河湾まで注がれています。

つまり、イチゴ栽培にて薪を使うこと、水源地域である地元の豊かな森林を再生、維持することは、地元の山村地域の経済を発展させるだけでなく、下流域の生活を支え、寄与しているのです。



ハウス脇を流れる矢作川と石川代表

薪ボイラー・ストーブの暖かさ、真っ赤に実ったイチゴを堪能しに、皆さまもぜひ上矢作町の石川イチゴ農園へ行かれてみてはいかがでしょうか。

【県産材流通課 時任大樹】

岐阜市立長良小学校

岐阜市長良259番地



施設全景

施設概要

事業年度	平成31年度（令和元年度）
事業主体	岐阜市
構造 延床面積	鉄筋コンクリート造 2階建て 5,259㎡
施設用途	学校
木材使用量 使用樹種	県産材使用量 121.87㎡ クリ、ヒノキ、スギ
全体事業費	1,329,551,000円
助成額	30,000,000円
設計者	大建・大建met設計共同企業体
施工業者	市川・雛屋・土本特定建設工事共同企業体
工期	平成30年9月から令和2年1月

施設の経緯

長良小学校は校舎の老朽化により全面建替えを行いました。学年を越えた児童の交流を図ることができるよう、2階に全学年の普通教室を集約しました。

また、多様な学習に活用できるワークスペースを各教室に隣接させ、時には教室と一体的な使用もできる、フレキシブルなつくりとしました。



普通教室



図書室



教室間に設けた
ワークスペース



授業風景

ここに注目!!

フローリング材にはクリ、家具材にはヒノキを使用しました。木に囲まれた温かみのある空間です。

利用者の様子

校舎内が明るくなり、児童たちも木の温もりを感じながら、のびのびと過ごしています。

■問い合わせ先

岐阜市教育委員会事務局教育施設課
TEL 058-214-2186

令和3年度『清流の国ぎふ森林・環境税』を活用した事業の全体計画

令和3年度の『清流の国ぎふ森林・環境税』を活用する事業についてお知らせします。

事業名	事業の概要	計画量	予算額 (千円)
① 100年先の森林づくりの推進			
環境保全林整備事業	水源林、溪畔林、奥山林等における間伐等の支援	2,600ha	268,300
水源林公有林化支援・推進事業	森林の公有林化の支援等	20ha	19,200
里山林整備事業	集落・農地等周辺の里山林整備の支援	650ha 40箇所（危険木除去）	197,737
森林地域外危険木除去事業	森林地域外にある危険木除去の支援	10箇所	
観光景観林整備事業	観光道路周辺の観光景観林整備の支援	70ha	40,000
② 自然生態系の保全と再生			
野生鳥獣保護管理推進事業 (ニホンジカ、イノシシの捕獲推進)	ニホンジカ及びイノシシの個体群管理を目的とした捕獲に係る支援等	7,500頭（ニホンジカ） 200頭（イノシシ）	122,200
野生鳥獣保護管理推進事業 (カワウ等対策)	カワウ又はカワアイサの被害対策活動に対する支援	700羽（カワウ等）	24,000
野生鳥獣保護管理推進事業 (市町村職員の育成)	市町村職員が有害鳥獣捕獲に従事するための銃所持などに係る支援	6人	1,500
野生動物総合対策普及推進事業	野生動物管理体制及び被害対策の課題と解決策に関する調査研究等の実施と鳥獣被害対策に係る人材の育成	500人 (啓発事業の参加者数)	20,500
流域協働による効率的な河川清掃事業	上下流域が連携した河川清掃活動の実施	73河川	30,000
生きものにぎわうため池再生事業	ため池に生育する外来種の駆除の実施	3箇所	2,200
水田魚道設置推進事業	水田魚道の設置推進	1地区	2,500
生態系保全団体支援事業	里地里川の生態系を復活させるモデル的取組みへの支援	5団体	9,000
生態系保全市町村支援事業	里地里川の生態系保全活動の実施への支援	13市町村	37,400
河川魚道の機能回復事業	県管理河川及び砂防施設に設置された魚道の適切な維持管理の実施	672箇所（点検） 80%（健全魚道割合）	46,600
	魚道内の堆積土砂除去や魚道施設の改修等の実施	0箇所（設計） 2箇所（工事）	20,300
用排水路・河川落差解消支援事業	農業用排水路や河川との落差解消	1地区	6,700
③ ぎふの豊かな森林・水を活かした環境にやさしい社会づくり			
木質バイオマス利用施設導入促進事業	公共施設等における木質バイオマス利用施設の導入の支援	20台（ストーブ） 1施設（ボイラー）	32,000
小水力発電による環境保全推進事業	簡易な小水力発電施設の設置	3施設	5,300
④ 人づくり・仕組みづくり			
木の香る快適な公共施設等整備事業	教育福祉関連施設等の木造化、内装木質化、重要文化財修復の支援	9施設	77,000
ぎふの木で学校まるごと木製品導入事業	学校等の机・椅子等の導入の支援	1,200セット・個	14,500
県民協働による未利用材の搬出促進事業	市町村と地域住民との協働による未利用材の搬出の支援	4,400t	7,400
ぎふ木育拠点整備等事業	「ぎふ木遊館」の運営	30,000人（入場者数）	85,126
ぎふの木育教材導入支援事業	ぎふの木を使った教材（おもちゃ、キット等）の導入の支援	60施設	3,800
森と木と水の環境教育推進事業	子どもたちを対象とした森や木、川に関する環境教育の実施	1,000人（ぎふ木育） 80人（養成講座）	19,500
清流の国ぎふ森林・環境税事業推進事業	森林・環境基金事業の広報活動、事業評価審議会の開催	3回（審議会） 一式（広報等）	5,200
上流域と下流域の交流事業	上流域、下流域の自然環境等を相互に理解する交流ツアーの実施	15回	7,700
生物多様性に配慮した地域づくり普及推進事業	生物多様性の保全等に資するシンポジウムの開催及びイタセンバラを活用した普及啓発	6回	1,800
①～④共通 地域のニーズに基づいた環境保全活動の促進			
清流の国ぎふ地域活動支援事業	各種団体等が行う森づくり・川づくり活動等に対する支援	40件	102,500
清流の国ぎふ市町村提案事業	市町村が提案する事業に対する支援	20件	
合計			1,209,963

今年度も各事業の取組み状況を毎月掲載していきます。

●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-8472 恵みの森づくり推進課恵みの森づくり係まで

変わる木工家の役割

「樹の一脚展」の営みと森の再生」の開催を通じて

岐阜県立森林文化アカデミー 教授 ● 久津輪 雅

てしまったのです。

一方、全国各地では森の荒廃が叫ばれ、倒木や獣害などにより人々の暮らしに影響が及び始めました。都会でも、街路樹や団地に植えられた樹木が育ちすぎて伐採され、産業廃棄物として捨てられる事例が増えてきました。こうした問題に取り組む人々から、地域の木工家に協力を求める声がかかり始めたのです。

虫食いや腐朽があったりして、歩留まりが悪くコストがかさみます。しかしそれらの木の癖を読み、小物や家具に活かすとともに、それらの樹が育った森のことやそれを使う意義をユーザーに語れるのは木工家なのです。その役割を感じ始めたからこそ、冒頭の決意表明という言葉が出たのでした。

私も30組の木工家の一員として椅子を作りました。三富地域で育った直径12センチのアオハダとムクノキを使い、その樹が森で生き生きと育つ姿を表現したいと樹皮つきで仕上げた一脚です。



筆者の椅子。樹皮のついたアオハダの曲がりをもそのまま後脚に活かしている。

この椅子展では会場に削り馬(木を削る道具)を並べ、来場者に生木を削ってもらうグリーンウッドワークの体験も企画されました(緊急事態宣言のため、実施されたかどうかは執筆時点では不明)。これは森林文化アカデミーが普及に努めてきたもので、ぜひ来場者に木を削る楽しさを味わってほしいと採用されたものです。物を作るだけではなく、こうした体験を提供することも木工家の新しい役割になりつつあります。



樹の一脚展会場。30脚の地域材の椅子が並ぶ。撮影：光齋昇馬

「この椅子展は、これから木工家が地域材を使っていくという決意表明だよね」
2月5日から3月末まで竹中工務店東京本店のギャラリーで「樹の一脚展」という椅子展が開かれました。地域材の利用に取り組む埼玉県の三富地域(川越市、所沢市、狭山市、ふじみ野市、三芳町にまたがる地域)と神戸市の六甲山の樹を使い、日本を代表する木工家30組が1脚ずつ椅子を作るというものです。用いた樹種は、ヤマザクラ、コナラ、ハンノキ、ヤシヤブシ、アカシデ、ホオノキ、アオハダ、ムクノキなど。実行委員会で出展者の一人が語ったのが、決意表明という言葉でした。

埼玉県の上野地区では、落ち葉で堆肥を作る江戸時代からの伝統農業を守るため、森の手入れで伐った樹を木工家たちが小物や家具に活かす取り組みを10年以上続けています。神戸市では民間団体や木工家たちと共同で、防災工事や街路樹剪定で出た樹を家具や内装に活用する取り組みが行われています。今回の企画展では、その2地域の活動を紹介します。

こうした樹木は、決して木工に使いやすいものではありません。細すぎたり、曲がっていたり、節が多かったり、

木工家たちはこの数十年、主に外国から輸入された広葉樹を使ってきました。かつては国産材を使っていましたが、大径木が枯渇し始めると同時に、北米からチェリーやウォールナット、ロシアからオーク、ヨーロッパからビーチなど、幅が広く均質で使いやすいい材が入るようになり、そちらへ流れ

地域材の利用は、小さなコミュニティの中に林業・製材・乾燥・製作に携わる人々がいることが必要です。そんなグループが各地に生まれ、連携していくことも求められます。実行委員の木工家たちは、今回の企画展がそのきっかけになればと願っています。

岐阜県におけるヒノキ根株腐朽被害の実態

森林研究所 ● 片桐 奈々

ヒノキ根株腐朽被害について

ヒノキ根株腐朽被害とは、木材腐朽菌が根の傷や地際の樹幹傷から侵入し、根株部分を腐朽させる被害です。この被害によってヒノキ本体は枯死しませんが、放置しておくとう体内で腐朽部分が徐々に広がり、木材の利用価値が低下します。そのため被害が見つかった場合、早期の対策が非常に重要になります。昨年の本誌797号において、岐阜県の多くの場所で被害が発生していることを紹介しました。今回はその後、さらに調査を進め、県内の被害実態を明らかにしましたのでご紹介します。

岐阜県における

ヒノキ根株腐朽被害の発生状況

偏りがないよう県内各地86林分を調査した結果、ほとんどで被害が発



図1 ヒノキ根株腐朽被害の深刻さの違い
左が軽度、右が深刻と考えられる被害

生していました。ただし、確認された被害木のほとんどは、幹の断面積の3分の1未満の腐朽(図1左)で、「軽度」といえるものでした。一方、

断面積の3分の1を超える深刻な腐朽被害(図1右)はごくわずかでしたが、建築用材としての価値が低下するだけでなく、風倒被害の危険性も高くなります。

ヒノキ根株腐朽被害の対策に向けて

前述のとおり、現状のまま放置すると、被害木の腐朽はどんどん進んでいきます。このため早期に被害木を

発見し、伐採を行う必要があります。今回の調査で確認された被害木は、多くの場合、地際の樹幹傷から病原菌が侵入していました(図2)。外観を観察し、樹幹傷があれば腐朽被害が発生している可能性は高いと考えられます。樹幹傷の有無を指標に間伐木を選ぶことで、被害による損失を可能な限り少なくすることができると考えます。



図2 地際の樹幹傷由来の腐朽被害
巻き込んでいる地際の傷から病原菌が侵入したと考えられる。

● 詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-331-2585

森林研究所まで



白川村における主伐・再造林の取組支援



■飛騨農林事務所 林業普及指導員 田中 伸治

白川村の森林面積は34千haで、45%に当たる15千haが民有林です。

民有林の人工林(2千ha)のうち10齢級以上の面積が70%を占める一方、6齢級以下の面積が3%しかなく、主伐・再造林の推進により齢級の平準化を図る必要があります。

そこで、民有林における主伐・再造林を推進するため、まずは村有林においてモデル的に事業を実施することとしました。

村有林での主伐・再造林の事業地確保を働きかけ、事業の推進を支援しました。

(1) 事業地調査

主伐・再造林の候補地である村有林(スギ人工林・10~11齢級)において、現地調査を行いました。

現地調査の結果、本数密度が800本/ha、平均直径が36cm、平均樹高が22m、被害率(獣害)が57%、根曲率が66%でした。

元玉は獣害や根曲がり等でC材としてしか利用できませんが、2番玉以上は製材用材として利用できると考えられました。

主伐を検討する時期の林分であり、被害を受けた人工林の更新伐倒・造材・集積・再造林)に対応



▲獣害(クマ剥ぎ)



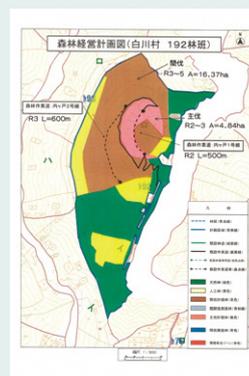
▲現地調査(村有林)

できる補助メニューを活用することと提案をしました。

これらにより、収入(主伐・再造林と路網整備の補助金、木材売上)から支出(主伐・再造林と路網整備の経費)を引くと赤字となる計画を白川村へ提示しました。

(2) 森林経営計画の策定

白川村が事業主体となつて、森林経営計画を策定するため、主伐・再造林、間伐、作業道の計画作成の支援を行いました。



▲森林経営計画図

(3) 主伐区域と作業道の測量

主伐・再造林の事業実施に向けて、主伐区域の周囲測量やプロット調査、主伐時に利用する新設作業道の測量の指導を行いました。



▲作業道の線形調査

(4) 作業道開設と主伐の実施

白川村が事業主体となり、作業道開設(750m)と主伐(2.68ha)を請負により実施しました。

事業実施地域の下方は、雪崩が発生するおそれがあるので、主伐により雪崩を誘発しないように緩衝帯を設けました。



▲作業道開設状況



▲主伐実施状況

今後の取組
令和3年度には、主伐（1・13 ha）と植栽（3・81 ha）を行う予定です。

植栽は、スギのコンテナ苗で、2千本/haです。
また、主伐区域の隣接地で、作業道開設と間伐を行う予定です。
これからも、白川村により事業が実施されますので、引き続き事業の推進を支援していきます。

課題

事業を実施したところ、既設作業道が主要道と接続するところが狭く急なため、材を中間土場まで小運搬で行うことになり、経費が余分にかかるようになりました。

さらに、新型コロナウイルスの影響から木材価格の低迷により売上げが少なくなる見込みです。

また、この地域は、クマ剥ぎの被害が多いことから、十数年後には、クマ剥ぎなどの獣害対策を検討する必要があります。

終わりに

白川村において、主伐・再造林が適正に実施され、森林の若返りが図られることを期待し、今回の事業を契機として、さらなる主伐・再造林が実施されることを望みます。

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0577-331111

飛騨農林事務所まで

スマート林業通信 10

OWLが認識する反射テープの試験

2月8日の岐阜新聞の朝刊を見ていただけましたか。なんと1面に森林3次元計測システム（地上レーザ計測器OWL）研修会の記事が掲載されました。

OWLについては2月号で紹介しましたが、宿題になっておりました境界杭等にマーキングする反射テープは安価なものでも使用できるのか。要望に応じて試験を行いました。

用意したのはOWL付属の反射テープ（m単価190円）、ホームセンターの商品（m単価129円）、100円均一の反射タスキ（m単価72円）の3種類。これらをそれぞれ杭に巻いてOWLは認識するのかをテストしました。

OWLは杭として認識すると写真のように杭のマークで表示されます。ただし、取扱説明書には杭は地上高30〜80cm、境界木は地上高150cm以上の位置に反射テープを巻くよう記載されていますので、巻く位置に注意してください。

試験結果は選んだ商品が良かったのか、3種類ともOWLは杭として認識しました。必ずしも付属の反射テープでなくてもOWLは認識することがわかりました。



ただ、大量購入したり、広い面積を計測した後に認識されなかったでは困りますので、これが安くて使いやすいという商品がありましたら、事前にテストして認識することを確認した上で使用することをお勧めします。

「森林技術」（日本森林技術協会）4月号にもアカデミーの普及研修の取組みを紹介しています。OWLの記事も掲載されますので、そちらもぜひご覧ください。



いろんな反射テープを買って試験しました



反射テープを巻くとOWLが杭として認識する

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-352005

森林文化アカデミー

スマート林業推進係まで

岐阜森林管理署のお仕事

飛騨川、長良川、揖斐川流域の国有林を管理する岐阜森林管理署は下呂市小坂町にあります。

今回は、昨年4月に新規採用された2人に森林管理署の仕事を紹介してもらいます。

●総務グループ(Kさん)

岐阜森林管理署では、管内32市町村のうち下呂市、東白川村、七宗町、岐阜市、美濃市、山県市、関市、郡上市、本巣市、揖斐川町に所在する国有林を管理しています。「国民の森林」として適正に管理するとともに、森林の公益的機能を発揮することで地域に貢献できるよう業務に取り組んでいます。

総務グループは、主に労務管理や公文書管理を行う総務担当、物品管理や支出・収入手続を行う経理担当、国有林野の貸付や立入等の許可事務等、主に土地に関する許認可事務を担う管理担当の3つに分かれています。

写真は貸付地調査のため森林官と共に現地へ赴いた際のもので、実際に貸付している現地へ足を運び、適正に管理されているかを調査しました。



▲継続貸付調査の様子 (向かって後列左が本人)

現在、国有林境界標確認のための測量をしたり、木材市場の動向調査をしたりと、担当以外の業務にも携わる機会を頂いています。知らないことも多く力不足を痛感する毎日です。

すが、国有林を適正に管理ができるよう業務に励んでいます。



▲赤沼田天保林

●業務グループ(Nさん)

業務グループでは主に森林整備に関わる業務を行っています。グループ内では土木、経営、森林育成、森林ふれあい、資源活用などの5つの担当に分かれており、各担当と連携しながら国有林を整備しています。

土木担当は主に林道の維持管理に関する業務を行います。林道は業務グループをはじめ山に入るすべての人が利用するため、林業を行っていく上で必要不可欠な担当です。

経営担当は主に流域毎の森林計画に関する業務を行います。岐阜署管内には飛騨川・長良川・揖斐川の3流域があるため、ドローンなどの機械を用いてデータを取り効率的に計画を作成します。

森林育成担当は主に皆伐後の植え付けや保育に関する業務を行います。苗木が病虫害やニホンジカなどの食

害等に遭わないよう対策をするほか、低コスト造林の試験なども行っています。

森林ふれあい担当は主に森林環境教育や林業体験などのイベントに関する業務を行います。令和2年度は新型コロナウイルスにより中止となりましたが、今年度は多くのイベントが開催できることを願っています。

資源活用担当は主に木材の生産販売に関する業務を行います。買い手の需要に合わせた木材を供給するため、販売する市場や事業者の方と相談しながら、生産事業で山から切り出された木材を販売します。



▲列状間伐を空撮

(岐阜森林管理署)

開催日	行事名等	内容等 (概要、定員、受講料、申込期限など)	場 所
			申込(問合せ)先/TEL
4月14日(水)~ 4月16日(金)	伐木・チェーンソー 作業従事者 特別教育	●講習時間 14日 学科 8:50~17:10 15日 学・実 8:50~12:00 16日 実技 8:30~17:40 ●申 込:開催日の10日前まで ●受講料:23,870円(本代含む)(振込み) ●定 員:30名(定員になり次第締め切ります。)	14日(学科)15日(学・実) ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東2-5-6) 16日(実技) 県森連岐阜林産物共販所(関市倉知字物見山) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
4月20日(火)~ 4月23日(金)	フォークリフト 運転技能講習 【受講資格】 自動車普通運転 免許所持者	●講習時間 1日目 学科 8:50~17:05 学科試験 17:10~18:10 2~4日目 実技・試験 8:00~17:30 ●申 込:開催日の20日前まで ●受講料:32,450円(本代含む)(振込み) ●定 員:20名(定員になり次第締め切ります。)	学科 伊自良中央公民館(山県市大門912-1) 実技 ぎふ農協旧伊自良共選場(山県市洞田127-5) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
4月28日(水)	刈払機取扱作業 安全衛生教育	●講習時間 学科 9:00~15:20 実技 15:30~16:30 ●申 込:開催日の10日前まで ●受講料:11,550円(本代含む)(振込み) ●定 員:30名(定員になり次第締め切ります。)	ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東2-5-6) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
5月18日(火)	刈払機取扱作業 安全衛生教育	●講習時間 学科 9:00~15:20 実技 15:30~16:30 ●申 込:開催日の10日前まで ●受講料:11,550円(本代含む)(振込み) ●定 員:40名(定員になり次第締め切ります。)	J Aひだ古城営農センター(飛騨市古川町上野571-1) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
5月19日(水)~ 5月21日(金)	伐木・チェーンソー 作業従事者 特別教育	●講習時間 19日 学科 8:50~17:10 20日 学・実 8:50~12:00 21日 実技 8:30~17:40 ●申 込:開催日の10日前まで ●受講料:23,870円(本代含む)(振込み) ●定 員:40名(定員になり次第締め切ります。)	19日(学科)・20日(学・実) J Aひだ古城営農センター(飛騨市古川町上野571-1) 21日(実技) 県森連飛騨林産物共販所(高山市新宮町112-7) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195



岐阜県緑化推進委員会へ入り、早いもので6回目の春を迎え、月日の経つのが年々早く感じられるようになりました。令和2年度は、新型コロナウイルスの影響で大変な1年でしたが、緑化関係のコンクールなどで、緑の少年団活動で、みどりの奨励賞を、国土緑化・育樹運動標語と緑化ポスターコンクールで、それぞれ特選に輝き、今までにない素晴らしい成績を収めることができました。学習活動に制限を受ける中、小中学生の皆さんの森林や緑に対する真摯なまなざしや素直な反応が審査員の共感を得たものと思っています。

岐阜県緑化推進委員会では、みどりの少年団をはじめ、小中学生の皆さんには、森林や緑に親しみ、緑を愛する人に成長されることを願っています。

「森林のたより」編集委員 黒崎 隆司

COLUMN

イベント情報

5月1日発行

連載

- 山の歳時記(189)
- 山のおじゃまむし(358)

地域の人

清流と森と親しむ

- 森林と人を活かす知恵(100)

木と親しむ

- 岐阜県の公共木造建築(98)

清流の国ぎふ森林・環境税

森林・林業技術

- 研究・普及コーナー

市況情報

その他



木材市況 県森連 岐阜・飛騨・東濃林産物共販所

単位:円(1㎡当たり)

回数 共販所名	樹種	長さ	径	平均値	高値	備考	
第1755回 岐阜共販所	すぎ	3 m	16~18cm	12,000	—	単価は直材 価格、但し 平均値は並 材二番玉価 格	
		4 m	16~18cm	11,000	—		
			20~22cm	12,800	—		
			24~28cm	11,600	17,500		
			30cm以上	10,200	20,800		
	6 m	16~18cm	—	—			
	3月9日	ひのき	3 m	16~18cm	17,000		—
			20cm以上	14,000	—		
		4 m	16~22cm	17,000	—		
			24~28cm	13,500	—		
30cm以上			15,000	77,000			
6 m		16~18cm	—	—			
第1333回 飛騨共販所	すぎ	3 m	16~22cm	11,000	—		
		4 m	24~28cm	11,000	—		
			30cm以上	10,000	—		
	ひのき	3 m	16~18cm	16,000	—		
		4 m	20~22cm	15,000	—		
			24~28cm	15,000	—		
			30cm以上	15,000	—		
		6 m	16~20cm	20,000	—		
	3月10日	まつ	4 m	24~28cm	8,000	—	
			30cm以上	9,000	—		
		ひめこ	4 m	24~28cm	12,000	—	
			30cm以上	13,000	14,000		
		5 m	30cm以上	14,000	—		
くり	4 m	24cm以上	15,000	—			
第1664回 東濃共販所	すぎ	3 m	16~22cm	12,000	—		
		4 m	24~28cm	11,600	—		
			30cm以上元	13,000	19,000		
	ひのき	3 m	16~22cm	16,500	30,000		
			24~28cm	13,000	27,000		
			30cm以上元	16,500	51,000		
		4 m	13cm以下	9,000	—		
			24~28cm	13,600	27,000		
			30cm以上元	17,500	32,000		
	6 m	18~22cm	22,000	—			
3月11日	まつ	4 m	22~28cm梁	5,000	—		
			30cm以上元	6,000	—		

木材市場

【商況】

各方面、在庫不足は継続。前回に引き続き活発な応札。スギ4m元木良材には応札多数。50cm上並材にも活発な入札。スギ並材3m、4m併せて非常に需要が高く強保合。3m(16~22cm)直造材が有利。ヒノキ元木良材30cm上、40cm上強含み。ヒノキ並材3m、4m価格は保合。4m土台取りが人気。ヒノキ2m元木は直材24cm上、引き合い強。合板向けはスギ、ヒノキともに値戻し。ラミナ向けも併せて特にスギが強保合。製紙向けパルプ材、発電向け未利用材ともに原木不足感が強く需要高。(岐阜)

スギ、ヒノキ3・4m並材は保合。良材には人気が集まり応札旺盛。モミ、スギ大径木欠点材は応札低調。広葉樹は全般に人気が集まり応札旺盛で完売。ヒメコ、マツ材は早急の出材をお願いします。他の高値はヒノキ2m×40cm@42,000円 プナ2.1m×44cm@37,000円 トチ2.1m×74cm@80,000円 ミズ2.1m×32cm@47,000円(飛騨)

全般的にヒノキ・スギとも並材(16cm~22cm)は、応札旺盛にて強保合。ヒノキ元木、良材2m・3m・4m(高齢材及び枝打材など(特殊材))には応札旺盛にて強保合。スギ元木良材には応札旺盛強保合。ヒノキ並材は3m・4m(16~22cm)は、需要があり価格は上向き気配にて強保合。スギ並材は3m・4m(16~28cm)状況が徐々に緩和し強保合。(東濃)

製品卸売標準価格 (2月期)

(単位:円)

樹種	用途	寸法(mm)			等級	m ³ 当り 価格	(本(枚)単価)	前月 比較
		長	巾	高				
スギ	柱	3000	105	105	1等	55,000	(1,819)	→
	間柱	3000	105	30	1等	55,000	(520)	→
ヒノキ	土台	4000	105	105	特等	65,000	(2,867)	→
		3000	120	120	特等	60,000	(2,592)	→
	柱	3000	120	120	(東濃松)特等	65,000	(2,808)	→
		6000	120	120	特等	120,000	(10,368)	→
W集 ウ成 ド材	柱	3000	105	105	国産5層	59,000	(1,950)	↗
		3000	120	120	国産5層	60,000	(2,550)	↗

※日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場 全てKD材)

外材市況 (2月期)

1㎡当り(価格単価:100円)

樹種	規格	価格	樹種	規格	価格
米松	SSタイプ	313	米 柾	へム(アラスカ産)	292
	コースト(目荒)	317	米ひば	ポール	310

日刊木材新聞調べ 名古屋標準相場(径級は30cm上、米松コーストのみ大阪相場)



パーティクルボード

木材用語一口メモ

木材やチップを細かくし、接着剤を使って熱圧成形した木質ボード。壁、床、屋根の下地材や家具に用いられる。JIS(日本産業規格)により規定されている。